

同窓会だより

題字 内藤祐次

令和7年8月30日発行
(2025年)
東京学芸大学附属
竹早小学校同窓会
会長 平柳佳彦
発行責任者 田近孝之
印刷(株)サンプラネット
No. 45



会長ご挨拶

同窓会会長 平柳佳彦
(昭和45年次卒)

会員の皆様には日頃より同窓会の活動にご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。

これまで長い間の懸案事項であった中学校と共用で使っている下校庭(旧小学校の敷地部分)の改修工事も昨秋には完成し、きれいな人工芝の校庭で子供たちも安全に活動しています。この改修費用は中学校と折半で捻出し、小学校の負担分についてはこれまで保護者が積み立てて来た積立金を充当した事は昨年お話しした通りです。同窓会としては今後の施設整備の一助となるように50万円を母校に寄付いたしましたので、決算書でご確認を頂きたいと思っております。

また同じく決算書の内容では、児童へのハンドタオル寄贈の項目の約50万円も併せてご確認下さい。これは校章入りのオリジナルアイテムとしてハンドタオルを作成し子供たちに使ってもらうとともに、年会費と活動支援金を

1万円以上ご寄付いただいた同窓生にも返礼品としてお送りしたものでありますが、皆さんから概ねご好評をいただいております。今年も昨年同様の予算でオリジナルデザインのマイクロファイバークロスの作成を企画中です。子供たちも日々の学習でタブレット端末を使っているため、画面を綺麗にするために便利なクロスを考えています。こちらも予算と併せて、財務部会からの報告紙面をご覧下さい。

また今年度は2年に一度の同窓会役員の改選時期に当たります。正式には10月の同窓会総会でご承認頂く内容になります。これまで永年に亘り要職を務めました佐藤副会長(昭和55年次)と青木理事(昭和43年次)の2名が退任し、新しく小部理事(平成9年次)が就任いたします。皆様もご存知のように、竹早小学校同窓会の良き伝統として、40歳になる年次が集まってその年の同窓会総会の幹事を務める事が定

着しています。今回もその幹事の中心となった同窓生に、理事への就任をお願いしています。私も同様のきっかけで理事会のお手伝いをするようになりましたが、この流れを生かしながら理事会の活性化を図ってまいります。既に新しい体制で理事会活動を進めておりますので、何とぞご了承いただきましたと存じます。

先日母校の入学式に出席しましたが、その中で在校生代表から新入1年生に向けた言葉が印象に残りましたのでご紹介します。在校生いわく、「私たちは竹早小学校の事を夢の学校と呼んでいます。夢の学校とはみんなが楽しく生活する「誠の心」がある学校のことです。」との事でした。誠の心は私たち卒業生も学んできた変わらない精神であることをあらためて感じたところです。これからも物心両面で「夢の学校」を支援してまいりますので、皆様のご協力をお願い申し上げます。

今年も10月25日(土)には平成10年次卒業生の担当により「総会・懇親会」が開催されます。特に人生の節目にあたる喜寿、古希、卒業50周年の皆様にはお誘いのメッセージを当日の告知ページに(P.8)掲載しております。ぜひ同期の方々をお誘いの上で、ご出席下さいませようお待ちしております。

最後になりますが、母校の益々の発展と同窓会会員の皆様のご健康を祈念して、ご挨拶いたします。

母校訪問報告

●クラスボール寄贈(4月29日) 高島・大森・高橋

例年4月に開催されます母校行事「朝の広場」でボールを寄贈して参りました。

本年度から大森・高橋両理事が参加して18個のボールを大森理事が「楽しく遊んでください!」と手渡すと、子ども達代表の2名が元気な声で「ありがとうございます!」と喜んで受け取ってくれました。



●キッズフェスティバル(6月3日) 平柳

●竹の子祭(6月1日) 矢澤・高島

キッズフェスティバルは、幼稚園児から小学校1・2年生までの子ども達が協力してダンスや演劇を披露する運動系と文化系を織り交ぜながら表現する力を育む機会です。

竹の子祭は、母校の特色である「縦割り班」で白組・紅組に分かれ子ども達が考案した競技を行う運動会です。

昨年夏に下校庭が人工芝に改修後の初めての開催となり、怪我の心配も減少された環境で、元気に走り回る姿が印象的でした。

